

【料理教室】

大山町産の食材と自然の産品を使ったモノづくりを行いたいという高校生と小学生が、大人と一緒に計画を進め、8月5日に保健福祉センターなわの調理室で料理教室を行いました。町内の小中学生に声掛けをし、約30人のこどもが集まりました。地元獲れの「アジ」を使ったハンバーグを作りました。事前に高校生が大人サポーターとレシピを作成。チームメンバーで試食会を行い、実施に至りました。

当日、こどもたちは慣れない手つきながら、アジを調理。みんなで協力して完成させ、わいわい楽しく食べました。今後は、町の総合文化祭で工作教室を計画しています。町民に与えられている大山町の恵みはみんなの誇りです。



【おしばいであそぼう】

こどもたちと一緒に、お芝居の要素を取り入れたゲームや遊びを行い、表現力やコミュニケーション能力の向上を目指します。8月8日にふれあい会館で、こどもたち30人と一緒に体験会を行いました。少々難しいゲームもありましたが、体を動かしながらみんなで楽しみました。場を和ませるやり方として、いろいろな話し合いのアイスブレイクに使える手法が満載です。



【中学生議会】

名和中学校生徒から提案された中学生議会議を、8月18日に役場議場で行いました。プロジェクト結成から約半年をかけ、打合せは15回にもなりました。その間、こどもたちは、議会の仕組みを学んだり、議会の傍聴、大山町を知るための町内視察や、ゲストを招いての研修を行ったりしました。

中学生議会議では「大山町がずっと住み続けたいまちとなるには」をテーマとし、中学生の目線で4項目（イベントの復活、安全な町、大山町のPR、公園の整備）に絞り、名和中学校でのアンケート調査を経て、質問内容にまとめました。当日は、中学生の視点ならではの疑問を基に、鋭い質問がなされ、かなり見ごたえある内容でした。今回のプロジェクトの中でも一番時間をかけ、頑張った中学生。終了後のほっとしていた姿からは、自分自身と戦い、ひとつ乗り越えたという自信を感じました。もっとたくさんの中学生にも経験してほしい取り組みです。来たれ中学生！

このような取り組みを通し、こどもや若者と大人が一緒に関わりながら、誰もが暮らしやすい大山町になるようつなげていきます。

テゴテゴプロジェクト2019

【テゴテゴ会議】

8月20、23日に大山・名和・中山の各地区でプロジェクト2019をスタートさせました。今年は、3年間で30個のプロジェクトの実現を目標に進めていきます。まずは、こどもたちが自分たちの思いを掘り下げ、見える化するための作戦会議としてテゴテゴ会議を実施します。

途中からの参加も可能ですので、参加したいこどもたちは、企画課へ連絡してください。学校以外の活動として、多くの大人たちと関わりながら、様々な種類の経験を積むことができるチャンスです。

興味のある保護者の方は、ぜひこどもたちの背中の一押しをお願いします。

*「TEGOTEGO（テゴテゴ）」
参加者随時募集中！

「やってみたい！」を実現する大人とこどものネットワーク「テゴテゴ」の参加者を随時募集しています。興味のある方は、企画課へご連絡ください。

◆申込み・問い合わせ先 企画課

☎0859・54・5202

FAX 0859・54・5216

E-mail kikaku@daisen.jp